おはなし りぼん

秋　号

NPO 法人市民ユニットりぼん
八王子市横川町 1166－2 メゾンさつきの 101 号　　℡ 042－621－4781
発行責任者　内田　富美子
URL. http://www10.ocn.ne.jp/~ribo

コスモス
花言葉は真心など。ギリシャ語では、秩序、調和、宇宙という意味もあるそうです。

目　　次

巻頭特集「共に地域で生きる街で暮らす」・・・・・2～3
みんなのひろば「わたしの趣味～至福のとき～」・・4～5
健康ひろば・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
法人から・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
インフォメーション　つぶやき・・・・・・・・・・8

◆◆◆ 巻頭特集 ◆◆◆

共に地域で生きる街で暮らす

ＮＰＯ法人：結の会　脇田泰行

25年前、元八王子町の「結の会」の場所は栗の木が点在する雑草地でした。そこに飯場に使っていた15坪ほどの古いプレハブをもらい移設し、通ってくる（通所）場を確保して出発しました。当初は学校を卒業した知的障害のある若者2人と私の3人がメンバーでした。

結の会を始めたきっかけは、学校卒業後、地域から遠く離れた障害者だけが多く集められた入所施設ではなく、障害のある人もない人も共に、地域で生き街で暮らしていきたいと思ったからです。また、当時市内にぽつぽつと出来始めていた障害者作業所の様子を見て、内職的な繰り返しや訓練的な仕事ではなく、何かやっていて楽しい充実感のある仕事がやれないものかと思っていました。

結の会の創立時は地域ご近所の方々は心配と不安があったのでしょう、あまり歓迎したくない空気で随分厳しい声もありました。障害者を知らないが故の偏見もあったように思います。とにかく様子を見守っていて欲しいと始めました。仕事は牛乳パックの手漉き葉書やリサイクルせっけんやみそづくりなどや、街に出ていこうとタウン誌のショッパー配りなども手がけました。また、結の広場祭りと称して、地域の人や支援者を呼んだ賑やかなイベントも行いました。そして、徐々に「結の会って、怖いところでも変な人がいるところでもない」という雰囲気が、地域にわずかずつ浸みこんでいったように思います。あれから随分時間が過ぎました。

現在、利用者20人と職員とアルバイト、ボランティアさんなどとにぎやかな毎日です。紙漉きは本格的な楮和紙になりました。近くの城山小からいただいた給食油のリサイクルせっけんづくりは今も続いていて、子どもたちがせっけんづくり体験に毎年きます。チラシのポスティングや自然派くらぶ生協さんからのチラシをセットする仕事（丁合）も請け負い続けています。2年前から恩方の花井農園さんと連携してブルーベリーの摘み取

り、ジャムづくりを始めていて好評です。市民向けの紙漉き教室もあります。地域・市民との繋がりのある仕事を創り上げています。

しかし、課題もたくさんあります。そもそも障害者と接する私たち健常者との関係はどうあったら良いのか・・・。障害者は指導や訓練の対象ではなく、共に働き生きる関係でありたいと思います。そして、できるだけ当事者の思いや希望を尊重したいのです。しかし、職員体制の問題や社会のルールや常識とずれた場合のジレンマは日々起こります。その他にも、親の高齢化に伴い家族支援が出来なくなった場合の生活の問題、結の会の財政基盤のこと、安すぎる職員給料のことなども挙げられます。また一般社会に通用する和紙などの商品開発とその販路のこと、障害当事者の賃金の配分のこと、利用者はもちろん職員の健康維持などの課題もあります。

さて、結の会は地域の中で長年存在してきましたが、まだまだ知らない人も多くいます。奇異な視線で見られたり誤解も受けます。隣人として自然に受け入れる土壌がまだまだ育っているとはいえません。共に生きることを困難にしている壁は、障害そのものよりも、障害者とつきあったことのない社会の人々の戸惑いと、社会との接点を持たず子ども時代を過ごしてきた障害者自身の不安が原因ではないでしょうか。こども時代から障害があってもなくても、一緒に学び遊ぶといった教育がまず基礎にあって、初めて差別や偏見のない共に生きる社会の土壌が、豊かになっていくのではないでしょうか。

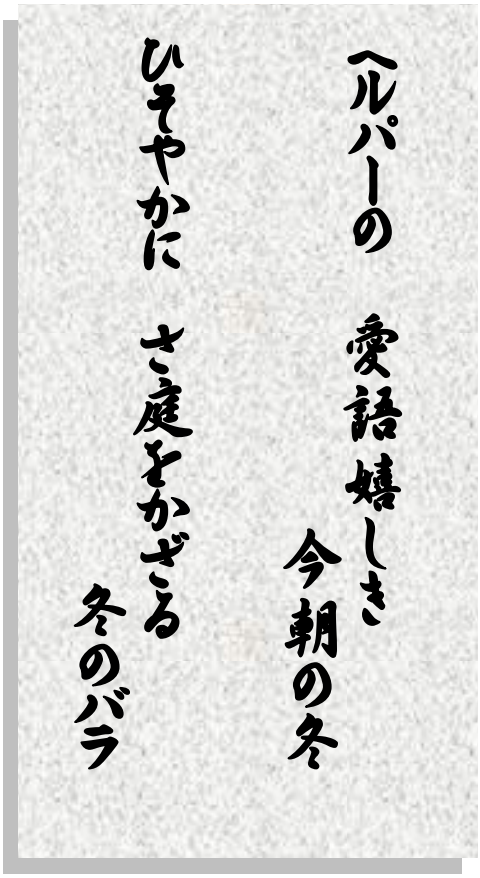
◆◆◆ みんなのひろば ◆◆◆

わたしの趣味　～至福のとき～

『 俳句 』

ご利用者の三島カズ子さん

「俳句を作るのは子供のころから好きでした。題を与えられて考えるとなかなか出てこない・・・。パッと頭に浮かんだことをつかまえられた時に句になるんだと思います。数えてないけど、たくさんつくりましたよ。」と笑顔でお話しくださいました。



『 旅 』　～　ご利用者の小林久八郎さん　～

「車中泊をしながら、
いろいろな地域の人や
自然に会うのが好きなんです。
今年の夏は
あまちゃんカフェ や
富山の風の盆 に
行ってきました。
宿をとって回ったんですが、
みなさん良くしてくれて！
楽しい夏でした。
お金が貯まったら旅に出るのが楽しみです。
黒ラブの愛犬マリとのドライブも楽しいですよ。
安上がりに自然を楽しむ旅のご案内できます（笑）
旅先でのスケッチも趣味の１つです。」

『私のピーちゃん』

ご利用者の松本 愛子さん

ペットショップで一目ぼれして
平成 23 年から飼い始めたインコです。
鳴き声からピーちゃんと名付け、
粟玉をあげながら育てました。
手にのり、言葉も話すようになりました。
「ピーちゃん！ピーちゃん、おりこうさん。」
「行ってきまーす！」などなど。
いつの間にか覚えてしまう言葉もあるんです。

呼ぶと近くに寄ってきてくれて
とてもかわいいです。

『 菊 作 り 』

ご利用者の
上條陽子さんのご主人

菊の花が美しい季節になりました。
１５年ほど前から菊作りを始めた上條さん。
一言に菊と言っても、色々で上條さんの育てている菊は三本立てや達磨作り（３０㎝位の丈の短い種類）の大輪の花。
４月下旬に挿し芽をしてから、花の咲く10月下旬まで作業は続き、週に１回の消毒、肥料は４～５回、毎日の水やり、特に夏場は１日２回の水やりが必要。現在約３０鉢を丹精込めて育てています。
菊には１２～３種類があり毎年新種が出るそうで、新種が咲いた時には、やりがいを感じるそうです。
今年も 10 月の下旬には美しい菊がひだまりの玄関を飾ります。

皆さん、ぜひお出かけください。

♦♦♦ 健康ひろば ♦♦♦

＜秋の花粉症＞

花粉症と言えば春のスギやヒノキの花粉ですが、秋にもイネ科や、雑草類（ブタクサ、ヨモギ）などの花粉が飛散しています。くしゃみや鼻水、鼻づまり、目のかゆみといった不快な症状が続く場合は花粉症が疑われます。「風邪かな？」と思いながらなかなか治らない。症状が改善したかと思うとまた悪化するときは秋の花粉症かもしれません。対策としては、メガネや帽子、マスクなどで花粉をからだに吸着させない、取り込ませないことが原則です。また、この時期は急に寒くなってくるため風邪をひきやすく、症状が似ているため花粉症だと自己判断してしまうことには注意が必要です。医師の診察を早めに受けましょう。

花粉症の症状

鼻　水　→ 無色で水っぽい。時に血液が混じることも。
鼻づまり → 夜も眠れないほど悪化してしまうことも。
くしゃみ → まれに喘息のような症状が出る人も。
目のかゆみ → アレルギー性結膜炎で風邪ではでない症状です。
痛みを伴うことも。

もっと知ってネ“結の会”

紙すき体験は、「八王子住まいづくり市民塾」（市民活動グループ）と共同で月に１～２回開催されているそうです。施設の見学、ブルーベリージャムなどの購入問い合わせください。

お問い合せ

〒193-0826
特定非営利活動法人結の会　八王子市元八王子町 2-1211
生活介護事業所「らいふ結」　TEL＆FAX　042-667-0039
共働事業所　「工房サマキ」　Email: npoyui@ybb.ne.jp

「平成 25 年度総会を終えて」

去る 5 月 26 日（日）りぼんの定時総会が東浅川保健福祉センターで開催されました。鈴木代表の開会の辞に続き、議長選出が行われ、訪問介護、居宅、ひだまりの家、総務・事務局、会員活動の各部門から 24 年度の事業報告・総括、収支決算や、25 年度の事業計画、予算案、方針が提案され満場一致で承認されました。

25 年度は 21 年間培ってきた力をさらに発揮し、新たに地域交流の拠点づくりを目指していきたいと思います。また、今年度は理事改選の年にあたり、新しい理事の紹介も行いました。今までの理事の方々、ありがとうございました。そして、新しい理事の方々、これからよろしくお願いいたします。

退 任 挨 拶

鈴木　真砂子

平成 25 年 5 月末　4 年間努めさせていただきました代表を退任することになりました。
ご支援有難うございました。

りぼん設立以来、「誰もが住みやすい街づくり」を目指して地道に活動を続けてきました。
時として、熱く、なごやかに語り合った夢のたね蒔きが、やっと始まろうとしています。
来年には誰もがつどえる「居場所」として芽を出すことと思います。
これからも、副代表としてがんばっていきます。
引き続きご支援宜しくお願い致します。

就 任 挨 拶

内田　富美子

市民ユニットりぼんに入職して 10 年が経ちました。あっという間、学ぶことばかりの日々だったと思います。色々なことや人に出会って、自分自身の暮らしに対する考え方が潤っていくのが良くわかりました。とてもうれしいことでした。大役をお受けして不安が無いわけではありませんが、生活者としての視点を忘れずに、「地域に根差すたすけあいのまちづくり」を頭に置いて活動していきたいと思います。ご支援をよろしくお願いいたします。

＜ 2013 年 8 月実績 ＞

	人数	時間
ACT	13	165.00
訪問介護	26	300.00
訪問予防	12	52.75
障害福祉	22	223.25
通所介護	19	
通所予防	7	
居宅介護	91	
居宅予防	25	

インフォメーション

地域交流会　結びの会りぼん

日　時：11 月 10 日(日) 11:00～15：00

場　所：長房ふれあい館 創作室・多目的室

手作りうどん・バイキング昼食や
マンドリン演奏・ゲームなど
秋の一日をお楽しみ下さい ♪

収益金は東日本大震災義援金とさせていただきます。

いちょう祭り出店

日 時：11 月 16 日(土) 9:00～15:00

場 所：長房市民センター前 河川敷
わくわく広場

毎年好評の手作りこんにゃくによるみそおでん、おしるこなどの販売やバザーなど

働く仲間を募集中です

あなたの経験をいかして、
私たちのまち 八王子で
一緒に“たすけあい”の
輪をひろげていきませんか？
ご興味のある方は
事務所までご連絡ください。

つぶやき

初秋に 20 代の頃三浦海岸で遠投釣りをしたことがあります。針に餌をつけ砂浜から狙いを定め海に向かって遠投する。糸がスルスルと伸び何十mか先の波間に浮きが漂う。魚がえさを食むと浮きが踊り「ソレッ」と引き上げると何と20cm以上の形の良い光った“白ギス”が釣れました。大きかったです。
何十年過ぎても楽しい思い出です。　　—山本—